

大分県日田市地域

重点プロジェクト③ 多様な高付加価値化商品の開発

地域資源を活用した学校机の開発

～地域(資源×工場×学校)の連携により地域の活性化と循環型社会の構築を目指す～

現状と課題

地域材の主力がスギやヒノキであり、住宅用構造材生産が主流の当地域において、今後の需要低下を見据え、木材の高付加価値化による新たな需要創出が必要である。また、市内小中学校で導入している児童・生徒用の木製机・椅子が老朽化に伴い更新時期を迎えている。

取組概要

令和2年度から令和3年度にかけて、森林を守り、育て、活かす取組みとして開発された学校机”きみの木”を市内小中学校に導入を開始し、複数年計画で市内全小中学校に導入予定。また、”きみの木”は各地域の木材を使用して各地域のメーカーが製作することが可能となるようにイメージして開発されたことから、この取組について多くの方々から賛同いただけるよう、各種メディア等でPRを実施。併せて、処分が必要となる学校机について廃棄ではなく有効利用に向けた検討を実施。

取組の成果・効果

今後”きみの木”の導入が進むことで、地域の木材を地場の工場で加工し、市内の学校で使用することにより、地域循環型社会の構築が図れるとともに、児童や生徒に森林・林業木材産業についての普及啓発が図れる。また、開発過程を紹介する web ページを開設しており、取組み状況等を随時紹介している。(右記QRコード参照)

- 地域の木材 → 森林資源の循環、林業振興
- 地域の工場 → 地場産業の振興
- 地域の学校 → 教育環境の整備、木育・ふるさと教育の推進

取組が進んだ要因

これまで、本重点プロジェクトにより地域材を利用した家具の製造を進める中で得た地域材を活用するノウハウを生かしたモノづくりだけでなく、実際に使用する学校現場での試用やイベント会場等での展示を通すことで、より児童・生徒が使いやすい学校机として完成することができた。また、これらの取り組みを児童・生徒と共同することで、地域の林業・木材産業への意識を醸成することができるとともに、モノづくりへの関心も高めることができています。

これから取組む地域へのアドバイス

”きみの木”の図面については、各地域から要望があれば提供することを予定しており、各地域の木材を活用した”きみの木”を導入することが可能。”きみの木”を導入することで森林環境譲与税の活用を図りつつ、森林を守り、育て、活かす取組みを進めましょう。



図1 完成した学校机”きみの木”

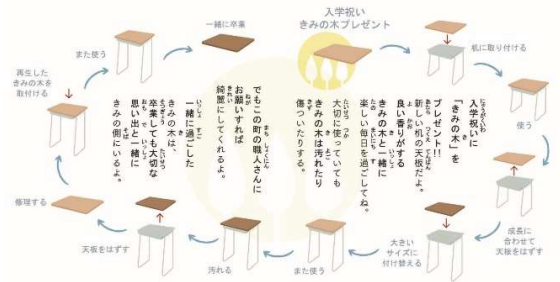


図2 “きみの木”の循環利用イメージ



図3 ウッドデザイン賞 2022 受賞



図4 web ページ QRコード

【担当】

大分県日田市林業振興課 綾垣 早人

【連絡先】

メール:rinsei@city.hita.lg.jp

電話:0973-22-8246

URL:https://www.city.hita.oita.jp/



林業振興課
Facebook